日露青年交流事業 短期受入れ（招聘）・派遣プログラム提案要領

日露青年交流センター

日露の青年同士の交流を促進するために、ロシアとの交流に関心があり、当センターとともに具体的な交流プログラムを作っていこうとお考えの方のアイデアを募集しています。

ご提案を受けたプログラムは、ご提案者と当センターの共催により実施されます。従って、補助金などの助成のみを行うことは想定しておりませんので、ご注意ください。

1. プログラム参加対象者

原則として、13歳以上40歳以下（プログラム終了時点）の日本またはロシアの青年。日本人については日露青年交流事業の枠組で他の短期派遣プログラムに参加したことのない方、ロシア人については同様に他の短期受入れ（招聘）プログラムに参加したことのない方に限ります。

事業終了時に「13歳となる学年」（日本の中学1年生及びロシアの6～7年生）に所属する学生については、12歳であっても参加を認めます。中学生相当の年齢の参加者が含まれる場合には、プログラム内容の安全性に十分注意して提案してください。

1グループの参加者数は10～20名程度を基本とします。但し、プログラムの内容により参加者数の増減を検討します。団長または引率者として、1グループに1名、41歳以上の方の参加が認められます。20名以上のグループの場合は、41歳以上の引率者2名（団長・副団長）の参加が認められます。

参加者が対象年齢の上限層に偏らないよう、青年交流グループとしてバランスのとれた年齢構成になるようにしてください。

1. 事業の内容

　日露間の青年の交流、相互理解の促進を目的とする事業。

受入れ（招聘）、派遣プログラムともに、ロシア側カウンターパートが決まっていることが原則です。

商業性の高いものや観光が主目的となっているものについては対象になりません。

1. 受入れ（招聘）・派遣期間

　原則として1週間（7泊8日）。

　プログラムの内容によっては若干の期間の変更を検討します。

同一のグループについて、受入れ（招聘）プログラム及び派遣プログラムの両方を提案される場合

は、1会計年度につき、いずれか1プログラムを原則としてください。

1. 費用負担
2. ロシアからの短期受入れ（招聘）プログラム

　日露青年交流センター負担：日本での滞在費（宿泊費、交通費、公式プログラム中の食費など）。

ロシア側派遣機関または参加者負担：日本までの往復渡航費、海外旅行保険料。

1. 日本からの短期派遣プログラム

　日露青年交流センター負担：ロシアまでの往復渡航費、海外旅行保険。

ロシア側受け入れ機関：ロシアでの滞在費（宿泊費、交通費、公式プログラム中の食費など）。

1. 申請方法

　別紙フォームにご記入の上、日露青年交流センターに電子メール、ファックス、郵便でご提出ください。書ききれない場合は、別紙にご記入いただいても結構です。具体的な内容が決まっていない項目については、その旨ご記入ください。

　　　　遅くとも実施予定の3ヶ月前までには申請してください。

1. 採用

　ご提案に基づき、プログラム実施の可能性についてご相談しながら検討させていただいた上で、採否を決定します。ご提案いただいたプログラムが採用されないこともありますので、予めご了承ください。

　実施決定後、ご提案いただいたプログラムについて各種メディアに掲載する場合は、日露青年交流センターによる日露青年交流事業であることを必ず明記してください。

日露青年交流プログラム 提案書

　　202　年　　月　　日 記入

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 提案者 | 氏名　 | 連絡先 | 電話 |
| ﾌｧｸｽ |
| （ふりがな） | E-ﾒｰﾙ |
| 住所 |
| 性別 | □女性　□男性 | 年齢 |  |
| 所属団体名 |  |
| （住所） |
| （連絡先） |
|  |  |
| 受入れ（招聘）プログラム・派遣プログラム（どちらかに ○ をお付け下さい。） |
| プログラム名 |  |
| プログラム内容（期間、予定参加人数、期待される効果など） |
| （１）プログラムを実施する団体 |
| 　日本側： |
| 　ロシア側団体または関係者： |
| 　ロシアとの交流歴（あれば具体的に）： |
| （３）目的 |
| （４）実施予定時期、期間 |
| （５）予定参加人数（年齢構成） |
| （６）提案者が負担できる経費の有無 |
| （７）プログラム概要 |